透析患者に関する薬剤情報

医療法人仁真会 白鷺病院 薬剤科

## ▼カボメティクス錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】カボザンチニブ リンゴ酸塩 Cabozantinib Malate 【分類】抗悪性腫瘍剤 [キナーゼ阻害剤]

【単位】▼20mg・▼60mg/錠

【常用量】60mg/日 [適宜減量] ■減量レベル:60mg→40mg→20mg→中止

【用法】1日1回空腹時

【透析患者への投与方法】検討されていない(1)がおそらく減量の必要はない(5)

症例によっては高用量が必要かも知れない (Zimmermann S, et al: Ther Drug Monit 2021 PMID: 34001696)

【保存期 CKD 患者への投与方法】体内動態からは減量の必要なし (5) eGFR30 未満: 検討されていない (1) AUC が最大 30%高くなるため慎重に適用 (Nguyen L, et al: J Clin Pharmacol 2016 PMID: 26865195)

【特徴】血管内皮細胞増殖因子受容体2 (VEGFR2),肝細胞増殖因子受容体 (MET),AXL 等のキナーゼを阻害し,シグナル伝達を阻害することで腫瘍増殖抑制作用を示す.

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】

【吸収】食事により吸収が増大するため、食事の 1 時間前から食後 2 時間までの間の服用は避ける (1) 食事により AUC 約 1.5 倍 (1) 胃酸分泌抑制剤の影響は認めない (Nguyen L, et al: J Clin Pharmacol 2015 PMID: 25907407)

【F】50.6% [イヌ] (1)

[tmax] 2~4hr (1)

【代謝】CYP3A4で代謝(1)代謝物の薬理活性は未変化体の1/10以下

【排泄】尿中回収率 27.29% [po, 48 日後] (1, Lacy S, et al: Drug Metab Dispos 2015 PMID: 26015560)

【CL/F】2.35L/hr(1)男性 106L/day,女性 83L/day 「22%低下」(Miles D, et al: Clin Pharmacokinet 2016 PMID: 26149244)

【t1/2】ke=0.00642/hr から、108hr(1)

【蛋白結合率】99.7%以上(1)

[Vd] 363L/man (1) 349L/body (Miles D, et al: Clin Pharmacokinet 2016 PMID: 26149244)

[MW] 635.59 [salt]

【透析性】透析されない (5)

【O/W 係数】

【相互作用】CYP3A4 誘導, P-gp 阻害作用あり (1) CYP3A4 誘導剤や阻害剤の影響を受けて経口クリアランスが変化 (Nguyen L, et al: J Clin Pharmacol 2015 PMID: 25854986) 未変化体と代謝物の EXEL-1644 はトランスポータを阻害する (Lacy S, et al: Drug Metab Dispos 2015 PMID: 26015560)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【備考】60mg 投与時は20mg 規格錠剤を使用しない(1)

【更新日】20240423

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確生、完全性、適別性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、 直接または間路がに生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の高付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。 ※本サイトに掲載の記事・写真などの無期産載・配言を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法が沢に国際条約により保護されています。